

戦争ストップ！  
原油高騰から暮らし・営業を守れ  
北陸新幹線延伸計画は中止せよと表明を  
子どもたちに笑顔を  
安心できる教育環境の充実を  
民泊・簡易宿所の規制と  
実感できるオーバーツーリズム対策を

代表質問

河合ようこ議員(西京区)  
とがし 豊議員(左京区)

「酷暑から市民の生命を守るための  
緊急申し入れ」

# 市政 動向



昼休み宣伝(4月13日)

No.462

5月市会  
2026年  
5/18~6/1

市政に対するご意見をお寄せください

日本共産党京都市会議員団

京都市議団

検索

ホームページで京都市会議員団の活動、政策などを発信しています。

QRコードはこちら→





# 戦争ストップ！物価高騰から暮らし・小規模事業者を守れ 北陸新幹線延伸計画は中止せよと表明を 学童保育の拡充、敬老乗車証制度を元に戻せ

## 河合 ようこ 議員

河合ようこ議員は、5月21日に開かれた本会議で、日本共産党を代表して質問を行いました。

### 原油高騰に対する暮らし、生業への支援を

河合議員は、アメリカ、イスラエルによるイラン等への攻撃、ホルムズ海峡の封鎖等によって、医療・介護・福祉、製造業、建設、伝統産業など、市民生活と地域経済のありとあらゆる分野に深刻な影響が及んでいると指摘。区役所・支所などに「総合相談窓口」を設置し、個人・中小事業者の影響調査を行い、国に対する緊急要望とともに、本市としても緊急の対策を早急に行うよう求めました。市長は、「市民生活や中小企業の経営基盤に影響を及ぼす重要な課題」「国の動向等を注視しながら、補正予算の検討も視野に入れて、時機を捉えた対策を講じていく」「中小企業の実態把握、情報収集に努め、中小企業の声を京都府とも共有し、国にも届けていく」と答弁しました。

### 北陸新幹線延伸計画は中止せよと表明を

河合議員は、北陸新幹線京都延伸計画について、与党PTは、7月末にもルートを決定するとしているが、シールド工法による東京外郭環状道路事業で、ギア

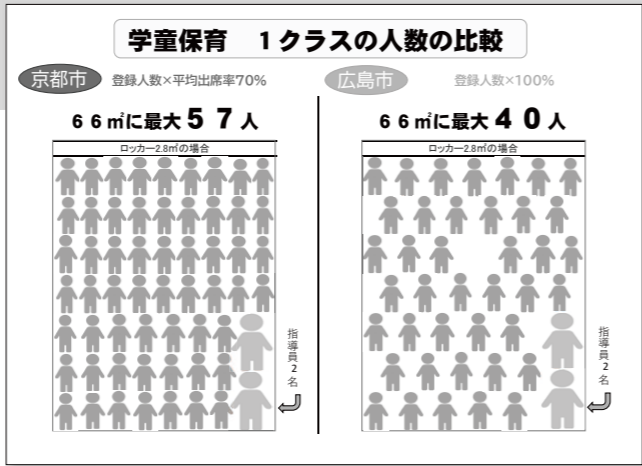
の破断による掘削不能事態が起こっている」と指摘。鉄道・運輸機構が3月に公表した「地下水検討委員会報告書」では、京都駅建設にあたって駅の四方を囲む土留壁が地下深く40m〜100mにも及ぶことが明らかになり、専門家からは土留壁が「難透水層」を突き破り、「地下水を遮断する巨大な遮へい壁になりかねない」「地下水が吹き上がる可能性が高い」との指摘があることを紹介し市長の認識を質しました。

また「5つの懸念」は、払拭・解消されるどころか、より深まっており、与党PTが示すとしていた8ルートのB/C（費用便益比）も未だに示されておらず、「小浜・京都ルートは断じて認められない」「今こそ北陸新幹線延伸計画は中止せよ」と表明するよう求めました。

総合企画局長は、「現在、国において、8つのルート案について再検証しており、個別のルート案やその工法について意見を申し上げる段階にはない」と具体的な答弁は避けました。

### 学童保育施設・児童館の増設と職員の処遇改善を

河合議員は、学童保育の利用者は、1



30館の整備目標が完了した2013年と比較して約2倍にも増えており、登録児童が200人以上の学童保育は10箇所もあると指摘。子どもの平均出席率を基準に面積を算出するのはやめ、学童保育を増やし、小学校区に1か所は児童館整備するよう求めました。また、学童保育・児童館職員の処遇改善を求めました。

### 敬老乗車証制度を元に戻せ

河合議員は、高齢者にとって宝物の敬老乗車証制度を改悪したことにより、利用者は改悪前の2021年度から2024年度は約4万人も減っていると指摘。改悪前の制度に戻して、多くの高齢者が安心して出かけられるようにすべきと求めました。また西京区の全域で、すべての民間バスに敬老乗車証が使えるように求めました。

保健福祉局長は、「高齢化の進展、受益と負担との関係や世代間の負担のバランスを考慮して見直しを行ったもので、

### 住民要望に添った西京区・洛西のまちづくりを

河合議員は、西京区の大原野地域などでのバスの廃止・減便、嵐山東でのバスの混雑などの課題を示し、住民の意見・要望を具体的に聞き、くらしに必要な路線の確保、値上げされたバス運賃の引き下げ、バス乗り継ぎの無料化を求めました。まちづくり政策監は、「市バス定期券の民間バスとの共通利用化、路線の新設等を実現」「民間事業者の厳しい経営状況にある中、バス運賃の改定、無料乗継は、経営への影響が大きく、解決すべき困難な課題もあるが、検討していく」と答弁しました。

河合議員は、川西市営住宅、市立芸術大学、竹の里小学校、西陵中学校の跡地活用について、コミュニティの中心として、施設は地域の現活動の継続を、跡地は民間事業者売却せず、住民の要望に沿った活用を求めました。副市長は、「公有地をまちづくりの核として、民間活用を含め検討している」と答弁しました。

河合議員は、高島屋洛西店閉店問題などの住民の不安解消に市長が責任をもつべきと述べました。



# 教員増など、子どもたちが安心できる教育環境の充実を 京都駅周辺の高さ規制の緩和は止めよ 市民が実感できるオーバーツーリズム対策を

## 子どもの医療費の 18歳までの無料化を

とがし議員は、子どもの医療費について中学校卒業までの通院医療費無料化が示されたが、「府内で18歳までの助成を実施していないのは本市のみ。政令市でも15都市が実施。18歳まで実質無料化を」と迫りました。吉田副市長は、「18歳までの充実については、他都市の動向を注視し、拡充後の実績や制度の持続可能性を目標めつつ、引き続き検討する」と答えました。

## 先生を増やす、 少人数学級の実現を

とがし議員は、子ども達へのアンケート調査を行い、「先生が怒るのは忙しいからじゃないか」「先生を増やしてほしい」という声も寄せられていると紹介。また教育委員会が京都大学と共同研究として行った「調査」でも、710人の教職員が100時間を超える超過勤務をしており、「先生の受け持ち授業時間数や事務作業を減らすとともに、教員の抜本的な増員を」と求めました。教育長は「令和元年度と比較して教員

の残業時間は月平均約10時間減となっている」「引き続き独自の取組とともに国に求めていく」と答弁しました。

## 不登校の実態調査を

不登校の児童生徒が増え続けている問題で、とがし議員は、東京都練馬区での独自の実態調査や抜本的な対策の実例を示し、不登校経験者や保護者、学校現場、支援団体等から丁寧に関き、加えて児童生徒から「どうすれば学校が魅力的になるか」の提案を募り、これらを学校づくりに生かしていくこと、「学校にいきづらい子どもの保護者のためのガイドブック」を作り、すべての保護者・教員に配布することを求めました。

## ゼロ・エネルギー・ スクールの実現を

とがし議員は、「新規事業として不登校支援等の現状分析に関する調査を実施。全ての市立学校と不登校の子どもがおられる保護者、全ての児童生徒を対象にし、調査結果は学校や児童生徒、保護者とも共有する」等と答弁しました。

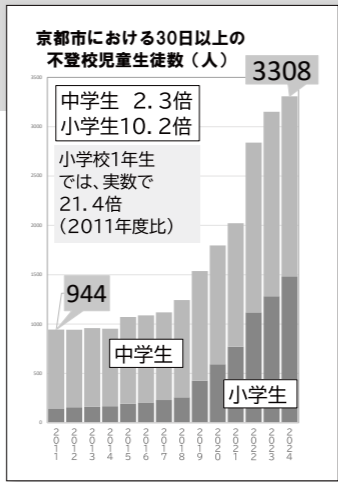
とがし議員は、「学校の省エネ化や再エネ導入が中途半端」と指摘し、「今後

の新築・大規模改修時には、エネルギー収支ゼロを目指す『ゼロ・エネルギー・スクール』を必須とすべきと質しました。教育長は、「一層環境に配慮した整備を進めていく」と答えました。

## 京都駅周辺の規制緩和を止め、 市民生活を守るまちづくりを

とがし議員は、

「新景観政策」が2007年に策定され、京都駅前も31mにとどめ、東寺や本願寺など世界遺産周辺の高さ規制も強化し、都市全体としての景観と住環境の保



京都市教育委員会資料より  
日本共産党市会議員団作成

護を徹底したと主張。市長設置の有識者会議が、この規制を60mへと大幅に緩和する答申を出したことを「京都の象徴であり世界的な至宝である東寺の五重塔55mを上回る巨大ビル群の建設を認めるもの。五重塔や西本願寺がビル群に圧倒され京都らしい情緒が失われる恐れがある。市自らが『世界遺産・古都京都の文化財』の普遍的価値を毀損するようなことはあってはならない」と指摘。「規制緩和は直ちに中止すべき」と迫りました。

## くらしの応援と

## オーバーツーリズム対策

とがし議員は、「バスは満員で乗れず、

住宅地では、管理者不在の民泊が広がり、騒音被害のみならず、地域コミュニティの担い手不足を深刻化させている」とし、観光客と宿泊施設の総量そのものを抑制に転じる必要があると指摘。バス増便や民泊・簡易宿所への立地規制、総量抑制、管理者の常駐化を義務付けるなど住環境を守る実効性のある条例へと進化させることを求めました。

市長は、「観光客の量的拡充を求めるときは終わった」としつつ、観光客の「総量規制は困難」と後ろ向きな答弁。宿泊施設については「令和8年度中の実効性ある条例改正提案を目指している」と答えました。

とがし議員は、京都を支える人々が「市外の人」として選別される「市民優先価格」は公共交通の理念を根底から覆すものだとして批判。「子ども料金の対象を18歳まで拡大」「通学定期の負担軽減」「敬老乗車証値下げ」こそ必要と求めました。交通局長は「通学定期の割引率の引き上げは若者支援の観点から有効であるが、5億円を超える減収になり、慎重な検討が必要」等と答えました。

## 新洞小学校の跡地活用は

## 住民要望を出発点に

とがし議員は、「新洞小学校跡地は地域の宝。改めて一人ひとりの地域住民の要望を出発点に据え、丁寧に活用を検討すべき」と主張しました。



### 2026年度一般会計補正予算案について

#### 北山ただお議員が賛成討論

北山議員は、子ども医療費支給制度の拡充や、「日本版CDC（感染症対策専門組織）の創設」、鴨川と周辺の公共空間の取組、リチウムイオン電池火災対策、「子ども銭湯応援事業」などは、必要なものであり賛成すると表明しました。その上で、18歳までの医療費無料化や保健所体制の整備の必要性を指摘しました。

今回の補正予算は、市独自の原油高騰対策がないことを指摘し、党議員団がアンケートや懇談で深刻な現状を聞き、市長に緊急対策を求めたことを紹介。国待ちにならず京都経済・中小零細企業対策に全力を挙げることが求めました。「伝統産業の海外市場開拓に係

る調査」（1700万円）について、伝統産業製品の海外市場開拓を否定はしないが、固定費補助や担い手支援、後継者育成、国民健康保険料値下げこそ求められていると批判。補正予算を組んで、伝統・地場産業の支援を強化すべきと指摘しました。医療でも感染対応のグループ（手袋）、ダイアライザー（人工腎臓）等入手困難の実態が示されているにもかかわらず、国は「目詰まり」を口実に対応していないと批判。市長が「補正予算の検討も視野に入れて、時機を捉えた対策を講じる」と答弁したと述べ、直ちに補正予算を検討すべきと求めました。



### 中東情勢に伴う原油高騰等への対策を

#### 平井良人議員が、2つの決議案に賛成討論

5月市会には、党議員団が「中東情勢に伴う原油高騰等への対策を求める決議案」を、自民・維新・京都・国民・公明党等が「中東情勢に伴う原油価格・物価高騰等に対する国等と連携した対策を求める決議案」を提案しました。

平井議員は、2つの決議案に賛成だとして、中東情勢に伴う原油供給不足・高騰等の影響が広がっており、府内企業の8割以上でマイ

ナスがあるとの調査結果をふまえ対策の必要性を訴えました。

建築関連事業者からは、仕事を受注しているにもかかわらず、材料が入らないため「すでに一カ月仕事ができない」と事実上の休業を余儀なくされているとの声がよせられるなど、事態は急を要していると指摘。原油高騰や供給不足の影響は、医療・介護、市民生活などあらゆる分野に及んでおり、各会派から

も市民・事業者の実態が示されたことを紹介しました。約75億円ある財政調整基金のうち50億円については、「災害時のため」とされ

ており、まさにこのような時の基金だと強調。国待ちではなく、市が早急に補正予算を組むことが必要だと主張しました。



### 北陸新幹線延伸計画にキツパリ反対表明を

#### えもとかよこ議員が請願の採択を求め討論

えもと議員は、請願の趣旨は「京都市長は市会決議と市民の世論を尊重し、北陸新幹線延伸計画のヒアリングに際して、京都市内の大深度地下トンネル計画は京都市のためにならないという立場を表明することを願う」というもので、北陸新幹線大深度トンネルトへの反対決議をあげた京都市会決議にそつた当然の主張だと強調しました。

国の公共事業として行われる整備新幹線には、採算の取れない路線はつくりたくないという大原則があると指摘。国交省は2016年7月、計画決定時には、敦賀・新大阪間の事業費は約2・1兆円と見積もり、費用便益比

（B/C）は1・1としていたが、2024年7月、事業費は約5・3兆円に増えるとの新たな試算が示され、費用便益比1以上という着工条件を満たしていないのは明らかだと強調しました。国交省は検証中の8ルート案の再試算結果を、未だに公表していないこと、また、これまでの5つの懸念・課題に加えて、災害対応やシールド工法を用いた大深度地下工事の技術的な課題など、懸念は解消されるどころか深まるばかりで、何度も住民説明会を求めてきたにもかかわらず、国も機構も応じようとしていない姿勢を厳しく批判しました。

## 5月市会 終了本会議

### 新しい委員会の所属が 決まりました

(◎委員長 ○副委員長)

#### 常任委員会

##### 総務消防委員会

○くらた共子 えもとかよこ  
山本 陽子

##### 環境福祉委員会

◎山田こうじ 加藤 あい  
玉本なるみ

##### 文教はぐくみ委員会

河合ようこ とがし 豊  
森田ゆみ子

##### まちづくり委員会

○やまね智史 赤阪 仁  
北山ただお

##### 産業交通水道委員会

西野さち子 平井 良人

#### 市会運営委員会

○加藤あい (理事)  
やまね智史 山本 陽子

#### 都市計画審議会委員

くらた共子 平井 良人  
やまね智史

5月市会での意見書・決議の採択結果 決議・意見書に対する態度 ○=賛成、×=反対

件名	審議結果	共産	自民	維京国	公明	無所属1	無所属2	無所属3	無所属4	無所属5	無所属6	無所属7	提出会派等
全てのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市会議員全員
中東情勢の悪化に伴う原油価格高騰対策を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自民、維京国、共産、公明、無所属1、無所属2、無所属3、無所属4、無所属5、無所属7
住宅ローン減税の拡充等を求める意見書の提出について	可決	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	維京国、共産、無所属4
住まいの安定と居住支援の抜本的強化を求める意見書の提出について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	公明
中東情勢に伴う原油価格・物価高騰等に対する国等と連携した対策を求める決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自民、維京国、公明、無所属1、無所属3、無所属5、無所属7
中東情勢に伴う原油高騰等への対策を求める決議について	否決	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	共産

5月市会での請願の採択結果 請願に対する態度 ○=賛成、×=反対

件名	審議結果	共産	自民	維京国	公明	無所属1	無所属2	無所属3	無所属4	無所属5	無所属6	無所属7
北陸新幹線延伸計画における立場表明	不採択	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×

(注) 自民=自由民主党京都市会議員団  
 公明=公明党京都市会議員団  
 無所属3=きくち一秀議員  
 無所属6=菅谷浩平議員  
 維京国=維新・京都・国民市会議員団  
 無所属1=天方ひろゆき議員  
 無所属4=小島信太郎議員  
 無所属7=平田圭議員  
 共産=日本共産党京都市会議員団  
 無所属2=井崎敦子議員  
 無所属5=繁隆夫議員

# 市民の声を力に くらしを守る 緊急申し入れを市長へ

物価高騰やイランをめぐる情勢による市民生活・営業への打撃、命を脅かす酷暑、子どもの医療費負担——日本共産党京都市会議員団は、市民のみなさんとの対話・アンケートで切実な実態をつかみ、市長に対して相次いで緊急申し入れを行いました。市民の声が政治を動かす、その取り組みをお伝えします。



**声を届けた！ 4つの緊急申し入れ**

**営業も家計も限界 京都市は早急に対策を**

「イラン戦争による影響を把握し、市民のくらし・営業を守る緊急対策を講じるよう求める申し入れ」(5月12日)

**中学校卒業までの医療費支給制度を実現！ 早期に18歳へ**

「子どもの医療費支給制度を早期に18歳までとすることを求める申し入れ」(5月12日)

**異常な暑さが命を奪う前に**

「酷暑から市民の生命を守るための緊急申し入れ」(5月29日)

**莫大な費用より市民のくらしを 反対表明を求める**

「北陸新幹線延伸計画のヒアリングで反対表明を求める申し入れ」(6月1日)



## 声明

# 5月市会を終えて

2026年6月4日

日本共産党京都市会議員団

団長 西野さち子

### 一、はじめに

6月1日、5月市会が終了しました。党議員団は5月市会にあたり「イラン戦争による影響を把握し、市民のくらし・営業を守る緊急対策を講じるよう求める」「子ども医療費支給制度を早期に18歳までとすることを求める」「酷暑から市民の生命を守る」「北陸新幹線延伸計画のヒアリングで反対表明を求める」各申し入れを行いました。

### 一、市長提出議案について

今市会には市長から35議案が提出されました。党議員団は28件について賛成・可とし、向島の優良な農地をつぶす都市計画の変更、梅小路公園に特定企業の名前をつけるための提案、保育士みなし特例を拡大する条例改正、2ヶ所の京北市営保育所を廃止する条例など7件について反対しました。

党議員団以外の自民、維・京・国、公明、無所属（※<sub>1</sub> ※<sub>3</sub> ※<sub>4</sub> ※<sub>5</sub> ※<sub>6</sub> ※<sub>7</sub>）は市長提案の全議案に賛成しました（無所属※<sub>2</sub>は議第68号に反対）。

（※<sub>1</sub> 天方ひろゆき議員 ※<sub>2</sub> 井崎敦子議員 ※<sub>3</sub> きくち一秀議員 ※<sub>4</sub> 小島信太郎議員 ※<sub>5</sub> 繁隆夫議員 ※<sub>6</sub> 菅谷浩平議員 ※<sub>7</sub> 平田圭議員 以下同様）

党議員団は補正予算について賛成討論に立ち、子ども医療費支給制度の中学校卒業まで通院実質無料化は市民の運動の成果であり、18歳までの無料化は独自財源8億円でできることから早急に実施すべきこと、イラン戦争・原油

め、引き続き検討する」と答えました。

### 一、意見書・決議

「中東情勢の悪化に伴う原油価格高騰対策を求める意見書」を全会一致で可決しました。決議については、党議員団は早急に補正予算を計上し、必要な対策を講じることを求める「中東情勢に伴う原油高騰等への対策を求める決議」を提案し、無所属※<sub>2</sub>が賛成しましたが、その他の党派・議員が反対し否決されました。「中東情勢に伴う原油価格・物価高騰等に対する国等と連携した対策を求める決議」（自民、維・京・国、公明、無所属※<sub>1</sub> ※<sub>3</sub> ※<sub>5</sub> ※<sub>7</sub> 提案）を全会一致で可決。党議員団は「独自財源の活用も含めて新たな補正予算の編成も視野に入れ、躊躇せず対策を講じること」としていることから賛成しました。討論に立ち、今議会で各党派からも市民・事業者の実態が示されており、政府の現状認識とギャップがあることは明らかであるとして、財政調整基金（約75億円）を活用し、国に求めつつ、対策を実行するべきと述べました。

「全てのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書」（全会一致）、党議員団が維・京・国、無所属※<sub>4</sub>と共同提案した「住宅ローン減税の拡充等を求める意見書」（自民、無所属※<sub>3</sub> ※<sub>5</sub>は反対）、公明が提案した「住まいの安定と居住支援の抜本的強化を求める意見書」（維・京・国は反対）を可決しました。いずれも党議員団は賛成しました。

### 一、請願・陳情

陳情は今市会に「簡易宿所への指導（上京区主税町）」「民間保育園に対する指導等」「存続拡充を基本にした京都市桃陽病院の今後の在り方」「京都市立図書館及び公共施設における自習利用の原則開放と運用改善」「醍醐コミュ

高騰に対する市民生活・生業への独自支援が計上されておらず、伝統産業を含めて個人・中小事業者への固定費補助や資金繰り支援・医療分野等への支援など直ちに新たな補正予算を検討すべきであることを述べました。

維・京・国から子ども銭湯応援事業、リチウムイオン電池対策動画作成事業を削除する修正提案が提出されましたが、賛成少数で否決されました。党議員団は燃料代高騰に苦しんでいる銭湯・公衆浴場に対する支援や、火災が多発しているリチウムイオン電池対策が必要であることから修正提案に反対しました。

### 一、代表質問等

党議員団は、取り組んできたアンケートや調査に基づき、アメリカのイラン攻撃による石油由来製品の不足や価格高騰で苦しんでいる市民・事業者の実態を示し、国への要望とともに本市として緊急の対策を早急に行うよう迫りました。市長は「原油価格を含む物価の高騰が長期化しつつあることは、市民生活や中小企業の経営基盤に影響を及ぼす重要な課題と認識している」として「補正予算の検討も視野に入れて、時機を捉えた対策を講じていく」と答弁しました。

子ども医療費助成について、党議員団が2024年11月に18歳までの実質無料化の条例提案を行ったことを改めて示し、政令市トップクラスの支援へと一気に舵を切ることを求めました。副市長は更なる充実について「他都市の動向を注視しつつ、拡充後の実績や制度の持続可能性を見極

ニティブスの運行本数改善に向けた支援」「京都駅前の再生に係る有識者会議の意見まとめの撤回等」「東山区の公園整備等」が提出され、党議員団は委員会審議で願い実現に奮闘しました。「醍醐コミュニティバス」の陳情者から趣旨説明の申請が出されましたが、共産党以外の全議員は、理由も示さず「必要なし」と却下しました。

請願「北陸新幹線延伸計画のヒアリングにおける立場表明」が提出されました。党議員団は採択を主張しましたが、無所属※<sub>2</sub>以外が不採択を主張し否決されました。党議員団は討論に立ち、北陸新幹線大深度トンネルルートへの反対決議にそって働きかけるという当たり前の主張を書かれた請願であること、鉄道・運輸機構が示した「京都府内三次元水循環解析と河川水・地下水の成分分析に関する委員会報告書」の影響分析が杜撰であること、シールド工法を用いた大深度地下工事の技術的課題があることを指摘。与党PTから市長へのヒアリングが予定されている今こそ「市長が京都市内の大深度トンネルは京都市のためにならないという立場を表明することを願う」請願を採択すべきと主張しました。

### 一、終わりに

4月10日、地元紙において、日本維新の会の元衆議院議員堀場幸子氏が2023年4月の京都府議選と京都市議選の立候補予定者20人に計200万円を配っていたと報じられ、維・京・国会派の現職議員9人が受け取っていたことが明らかとなりました。この事案について、日本共産党市会議員団は既に声明を発表しているところですが、維・京・国は早急に、京都市会議員政治倫理条例にもとづき、市民と議会に事実を報告し、説明責任を果たすべきです。

## 14人の市会議員から一言

### 北陸新幹線延伸計画 NO!

えもと かよこ 右京区



5月市会では、予算特別委員会で消防局にリチウムイオン電池火災防止の動画作成に関連して、管理者不在型宿泊施設の火災リスクを指摘。常任委員会では、指定避難所の炊き出しと大規模給食センターを建てるために東吉祥院公園を廃止したことで、近隣住民の広域避難場所がなくなる問題について追及。請願「北陸新幹線延伸計画のヒアリングにおける立場表明」について常任委員会で質疑し、本会議でも採択すべきと主張しましたが、不採択とされました。

### 不公平さを拡大する 高市首相の暴走

赤坂 仁 伏見区



食料品の消費税率と合わせて「国民会議」で検討されている「給付付き税額控除」。「国民会議」のイメージ案では、一定の収入以下の人を対象外となっている。年金生活者や年収の少ないひとり親家庭、パートやアルバイト、失業中の人、生活保護受給者など、「低所得で最も苦しい人が対象にならない」もので、消費税の減税を物価高対策、低所得者対策だと言っているが大きな矛盾だ。市民1人につき5,000円相当分の京都市デジタル地域ポイントの給付がはじまるが、マイナンバーカードを持っている人のみ対象で、市民の中に分断を持ち込むものだ。

### 北陸新幹線京都延伸計画 は中止を

団長 西野 さち子 伏見区



自民党と維新の与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームは、7月の国会会期末までに京都延伸計画のルートを決めるとしています。しかし、京都市の地下水を台無しにするだけでなく、今でも5兆3千億円という膨大な工事費用が必要です。大半がトンネルなので土砂の量も膨大です。京都市内全域が盛土規制法の対象になっています。ヒ素を含んだ土砂の処分も決まっています。市民の反対の声を押し切って強行することは許されません。

# 14人の 市会議員から一言

団長 西野さち子  
副団長 北山ただお  
幹事長 加藤 あい

### 京都を守るために

くらた 共子 上京区



各種団体の総会・懇親会に出席しています。物価高騰・ナフサ由来の資材不足に対して「目詰まり解消」としか述べない政府の姿勢は中小企業・小規模事業者を切り捨てるものです。マイナンバーカードの取得を前提とした京都ポイントや5000円給付は市民差別で許せません。高市政権の戦争する国づくり、北陸新幹線京都延伸計画をストップし、誰もが安心して暮らせ、京都の良さを活かす政治に転換しましょう。

### 戦争STOP!

河合 ようこ 西京区



代表質問させていただきました。「イラン戦争中止!のため国に要請を」「北陸新幹線延伸計画は中止と表明を」の質問に市長から答弁はありませんでした。本当に残念。米国・イスラエルによるイランへの攻撃に端を発した原油不足の影響はあらゆる分野に及び「仕事なくなった」「医療材料が不足」…と命に関わる事態になっています。戦争で人々の命が奪われています。「とにかく戦争を止めて」の声アンケートにも多数寄せられています。市民の切実な声です。一緒に訴え続けます。

### 寄せられた声を届けて、改善へ ～暮らし支える市政を～

幹事長 加藤 あい 左京区



京都市では介護保険要介護4～5・65歳以上の高齢者(非課税世帯)を在宅介護されている方におむつ等介護用品給付券を交付。有料指定袋の無料交付も行っています。「申請から交付連絡まで2ヶ月かかり、介護を受けておられた方が亡くなってしまわれた」という市民の声をうけ、委員会で改善を求めました。京都市は「大変申し訳なかった」として、「この事例から事務フローの見直しを検討していく」と答弁しました。

中東情勢の悪化による影響についても  
対策を委員会で求めました➡



### 画竜点睛を欠く 補正予算

副団長 北山 ただお 山科区



今回の補正予算は、子ども医療費支給制度の拡充などの子育て環境の充実、京都版CDCの創設、リチウムイオン電池火災対策などで賛成し討論しました。しかし、最も重要課題であるイラン戦争・原油高騰に対する市民生活・生業への独自の支援が含まれていません。私は、直ちに中小零細業者、伝統・地場産業の固定費補助や担い手支援、後継者育成、国民健康保険料値下げ、社会保険料の事業主負担軽減、資金繰り支援などを補正予算を組んで支援強化することを強く求めました。

## 14人の市会議員から一言

### 京都市が梅小路公園の「名前」まで売却！

やまね 智史 伏見区



京都市美術館の名前（通称）が京セラに売却された際、「歴史ある施設に企業名をつけていいのか」「市民の財産の私物化では」など大きな議論が沸き起こりました。今議会ではついに「梅小路公園」の名を売却対象にする議案が。同公園は「平安建都1200年」を記念し整備された都市公園です。公園内の水族館はオリックス不動産、鉄道博物館はJR西日本の関連施設ですが、企業名は付いていません。市民の財産を軽んじる京都市の姿勢に怒りがわきました。

### 戦争直ちに、やめろ！

山田 こうじ 右京区



エネルギーも食料も原材料も海外に依存する日本。遠く離れた中東での戦争で、ホルムズ海峡の封鎖等により、市民生活と地域経済に甚大な影響が及んでいます。4月の倒産件数は、5か月連続で前年を上回り、「物価高倒産」は急増し108件と過去最多で前年度比5割増でした。京都新聞5月16日付には「京滋上場企業 影響続出」として、「原材料調達難 懸念広がる」「ナフサ確保『本当か』」との見出しが躍っています。継戦能力向上どころか戦争することこそが日本の存立危機です。

### 議員在職15年表彰

とがし 豊 左京区



全国市議会議長会より議員在職15年の表彰をいただきました。途中11票差で議席を失い悔しい期間もありましたが、多くの皆さんの力で再び市会へと戻っていただき今まで走り続けてきました。この3年に限っても67人の議員の中で一番多い180回の議会質問を通し、市民の声を議会へ届け、着実に願いを実現してきました。「市民の声を聞き、とことん寄り添い、連帯の力で実現」をモットーに、これからも住民の皆様の声を市政に届け続けます！

### 健康診断をやめたらだめでしょ！

玉本 なるみ 北区



京都市立病院が実施している健康センターを来年度に廃止するとお知らせがあり、驚きと怒りで黙っておれず、環境福祉委員会で質疑しました。年間4000人の方が健診を受けているのに、経営が赤字であること、周辺の民間病院が実施していて、やめても受けるころはあると説明。医療の原点は早期発見・早期治療であること。公立病院として、京都市が補てんしてでも続けるべきです。医療の原点を投げ出してはいけません。

### New 新着情報 (見解・声明など)

- 【申し入れ】** 北陸新幹線延伸計画のヒアリングで反対表明を求める申し入れ (2026/6/1)
- 【申し入れ】** 酷暑から市民の生命を守るための緊急申し入れ (2026/5/20)
- 【申し入れ】** 子どもの医療費支給制度を早期に18歳までとすることを求める申し入れ (2026/5/12)
- 【申し入れ】** イラン戦争による影響を把握し、市民のくらし・営業を守る緊急対策を講じるよう求める申し入れ (2026/5/12)
- 【声 明】** 日本維新の会元衆議院議員による市議員選挙立候補予定者への寄付について (2026/4/13)

全文は、市議団ホームページをご覧ください。

### 富裕層にこそ課税強化を

山本 陽子 山科区



市税条例の改正議案を質疑しました。ビットコインなどの暗号資産の譲渡所得を、総合課税8%から分離課税4%に減税する国の法改正を受けたものでした。暗号資産は、ご存じの様にビットコインなどのリスクの高い資産で、余裕のある富裕層が多くの利益を得ます。投機的なリスクの高い余裕資産の利益を総所得から分離することも問題。所得税の累進制が機能しません。このような富裕層減税を粛々と進める政治は不公平。富裕層にこそ課税を。

### 今年度は文教はぐくみ委員会に所属

森田 ゆみ子 南区



市議員になって初めて文教はぐくみ委員会の所属となりました。子育て中は保育園の保護者会、小中学校のPTA役員など頑張っていました。息子達は社会人になりました。当時の要望を思い出しつつ現在進行形の不登校やいじめ、学校の施設整備（トイレ、体育館・教室のエアコン）など、多くの問題がある中、子どもたちや保護者、先生が気持ちよく過ごせるように、保育・教育・文化の面で人として大切にされる政治を目指して頑張ります。

### 原油高騰対策に全力

平井 良人 中京区



5月市会に入る前の常任委員会で、原油高騰や物価の高騰への対策が必要と求め、補正予算を組むべきだと議論しましたが、京都市は「現在行っている対策で対応する」との姿勢でした。5月市会では、代表質問でわが党の河合議員の質問に対し「補正予算も視野に入れ検討」と態度が少しずつ変わってきました。自民党も含め、対策を求める意見書・決議をあげざるを得なくなっています。更なる事業者・市民への対策を行うよう引き続き求めていきます。

北 区



**玉本なるみ**  
☎090(1598)0778

上 京 区



**くらた共子**  
☎080(1486)7304

中 京 区



**平井 良人**  
☎090(6557)4740

左 京 区



**とがし 豊**  
☎(771)7847



**加藤 あい**  
☎090(5098)9127

右 京 区



**えもとかよこ**  
☎090(3999)0969



**山田こうじ**  
☎090(3970)4701

南 区



**森田ゆみ子**  
☎080(5702)0166



**北山ただお**  
☎(501)6197



**山本 陽子**  
☎(595)8342

山 科 区

困ったときは  
日本共産党に  
相談を

西 京 区



**河合ようこ**  
☎(392)3546

伏 見 区



**赤坂 仁**  
☎090(3485)0929



**やまね智史**  
☎(622)2009



**西野さち子**  
☎(571)5731

事務局から

▼1933年生まれの父は、中京区の裁判所の南に生家がありました。5人兄弟の2番目で、幼い頃は校長先生をしていた自慢の父親（私の祖父）と、山科まで釣りに出かけるのが何より楽しみでした▼その日、釣りに出かけた親子に、威圧的な男2人が声をかけ、祖父に持っている物を脱げと迫りました。恐怖にすぐむ父に、「おまえは関係ないよ」と声をかけ、祖父は黙ってふんどし一丁になったそうです。父の悔しさはいかほどだったか。男たちが特高警察だったと理解したのは、ずいぶん後でした▼大阪で小学校の教員になった父は、子どもたちに憲法の大事さを教えました。「二度とあんな思いをする子どもをつくらない」との強い願いを込めて▼父が亡くなって5年。国会では「国家情報会議設置法案」が強行され、「スパイ防止法」が狙われています。具体化されれば、自治体はどんな役割を担わされるのか。縁あって、父が生まれたこの町で市政に関わる仕事につきました。憲法が暮らしに生きる京都市政であるように、力を尽くしたいです。

(渡辺研二)

発行

日本共産党京都市会議員団

2026.7.6

TEL 075-222-3728

FAX 075-211-2130

〒604-8571 京都市中京区河原町御池 京都市役所内 <https://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp)



京都市会議員団の活動、  
政策などを発信しています。

<https://cpgkyoto.jp/>



市政に対する  
ご意見をお寄せください。

E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp)



ユニバーサルデザインの視点で作られた文字フォントを採用しています。